

岐阜県内中小企業の景況動向
中小企業団体情報連絡員70名(うち70名分の集計)の情報連絡票から
平成29年6月末調査(前年同月比)
岐阜県中小企業団体中央会

〔Ⅰ〕6月の特色

- ◆ 景況感D I 値マイナス20 ～前月比概ね横ばい～
- ◆ 売上高D I 値9ポイントの悪化～製造業においては前月比22ポイントの悪化～
- ◆ その他の主要調査項目のD I 値は概ね横ばい

〔Ⅱ〕6月の概況

当月の景気動向を前年同月比の景況感D I 値で見ると、好転2、悪化22で、D I 値はマイナス20となり、前月のD I 値マイナス19に対し、1ポイントの悪化となった。

業種別の景気動向を前年同月比の景況感D I 値で見ると、製造業のD I 値はマイナス20となり、前月比±0の横ばい、非製造業のD I 値はマイナス21となり、前月比3ポイントの悪化となった。

なお、回答のあった70業種のうち、前年同月比で景況感が「好転」と回答した業種は、可児工業団地、広告美術の2業種(前月比±0業種)。

また、「悪化」と回答した業種は16業種(前月比+1業種)となっている。

主要な調査項目を見ていくと、売上高D I 値はマイナス18で前月比9ポイントの悪化、販売価格D I 値はマイナス13で前月比4ポイントの改善、収益状況D I 値はマイナス14で前月比3ポイントの改善、資金繰りD I 値はマイナス7で前月比1ポイントの悪化、雇用人員D I 値はマイナス6で前月比±0ポイントの横ばいとなり、売上高D I 値が大きく悪化するも、販売価格・取引条件・収益状況・資金繰り・雇用人員D I 値は概ね横ばいという結果となった。

コメントを見ると、製造業では、「組合員企業27社の動向調査によれば、可児工業団地全体の景況感は4ヶ月連続で好調が続く。『販売価格』以外の項目はすべてプラス指標。(可児工業団地)」、「米国を中心に輸出は堅調に推移している。Q-CAT(外装タイルと有機系接着剤の組み合わせ品質認定制度)への注目度が先月に続き一層顕著になっている。(タイル)」など、プラスの内容が報告された一方で、「GMSを中心に、夏物価格の低下が続いている。衣服売上の低迷が要因。景況感に明るさが無く、要因として、ミセスの衣料品消費が依然として低迷していることがある。(婦人子供服)」、「原木から製品まで販売価格は下降している。物件数や仕事量は昨年とあまり変わらないが、利益率が下がっている。(東濃ひのき)」など、マイナスの内容も報告された。

非製造業でも、「屋外広告物の安全性への法的規制が厳しくなり、保守点検・修理・作り替えの依頼が増えているとの声がある。(広告美術)」、「5月、6月と続いて景況は良好である。2ヶ月連続で上昇というのは久しぶりのこと。直近の土地価格も公示額も上昇し、駅前南街区は出店者が多く、改善されつつある。平日も休日も観光客が目につく程増加傾向にある。(大垣(商店街))」など、プラスの内容が報告された一方で、「毎月、売上高の減少を報告する事業所は2割前後あったが、当月は8割以上の事業所が減少との報告であった。また、増加を報告する事業所も同様に2割前後あるが、当月は無しであった。(自動車車体整備)」など、マイナスの内容も報告された。

<主な調査項目での動向>

売上高の動向は、前年同月比で増加17、減少35でD I値はマイナス18となり、前月のマイナス9に対し、9ポイントの悪化となった。

売上高が増加した業種は12業種（前月比+1業種）あり、プラスチック、砕石生産、鋳物、可児工業団地、共同店舗（飛騨）、生花販売、商店街（大垣）、クリーニング、広告美術、土木（岐阜地区）、電気工事、木造建築である。

売上が減少した業種は25業種（前月比+8業種）あり、特に繊維・同製品、木材・木製品、紙・紙加工品、卸売業、商店街、運輸業の区分で多かった。

販売価格の動向は、前年同月比で上昇2、低下15でD I値はマイナス13となり、前月のマイナス17に対し、4ポイントの改善となった。

販売価格が上昇した業種は2業種（前月比+1業種）あり、牛乳、金属製品（輸出）である。

販売価格が低下した業種は11業種（前月比-2業種）となった。

収益状況の動向は、前年同月比で好転7、悪化21でD I値はマイナス14となり、前月のマイナス17に対し、3ポイントの改善となった。

収益状況が好転した業種は5業種（前月比+2業種）あり、銘木、可児工業団地、商店街（大垣）、広告美術、木造建築である。

収益状況が悪化した業種は15業種（前月比±0業種）あり、特に卸売業、商店街の区分で多かった。

資金繰りの動向は、前年同月比で好転1、悪化8でD I値はマイナス7となり、前月のマイナス6に対し、1ポイントの悪化となった。

資金繰りが好転した業種は1業種（前月比±0業種）あり、可児工業団地である。

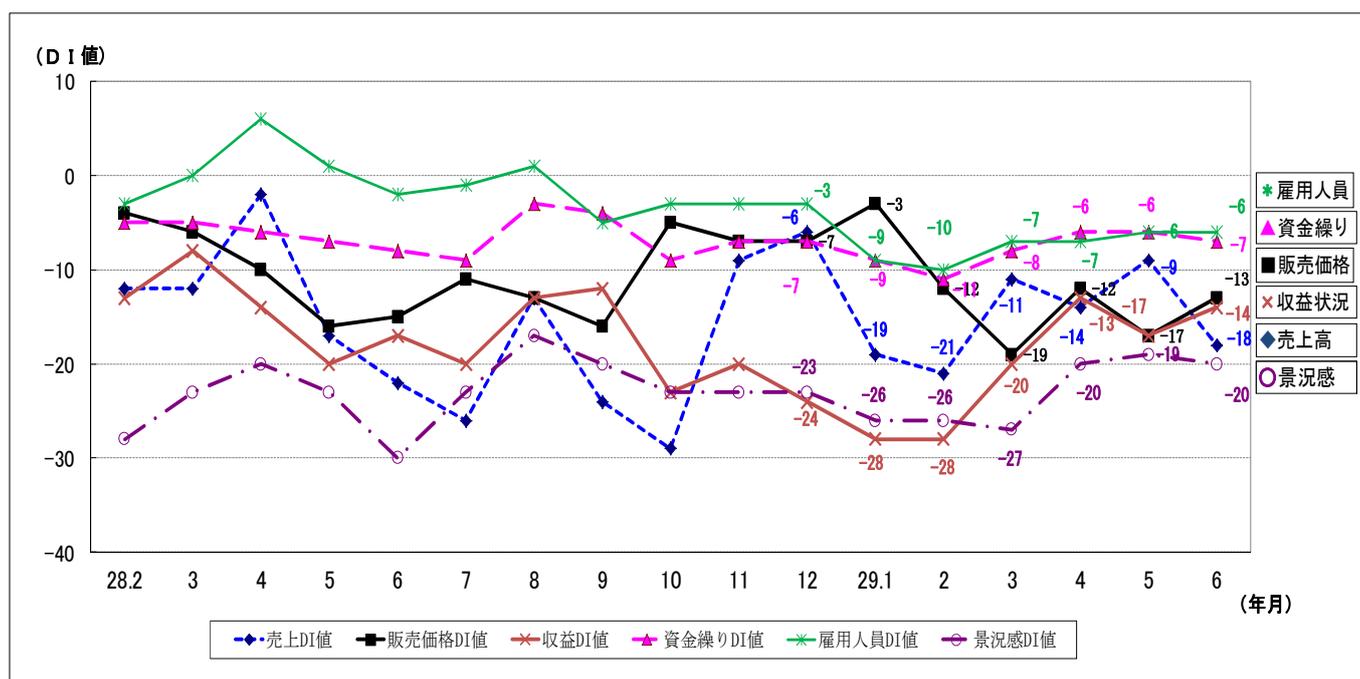
資金繰りが悪化した業種は6業種（前月比+1業種）あり、特に商店街の区分で多かった。

雇用人員の動向は、前年同月比で増加4、減少10でD I値はマイナス6となり、前月のマイナス6に対し、±0ポイントの横ばいとなった。

雇用人員が増加した業種は3業種（前月比±0業種）あり、機械すき和紙、県金属工業団地、可児工業団地である。

雇用人員が減少した業種は7業種（前月比±0業種）となった。

売上高、販売価格、収益動向、資金繰り、雇用人員、景況動向 DI値の推移(前年同月比)



〔Ⅲ〕業種別(製造業・非製造業) 動向 (6月末調査)

1. 製造業

業種区分	業種	前年同月比					
		売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
食料品	牛乳	△	○	△	△	△	△
	食肉(国産)	△	△	△	△	△	△
	菓子	△	△	△	△	△	△
	米菓	△	△	△	△	△	△
	製麺	△	△	△	△	△	△
繊維・同製品	撚糸	△	△	△	△	△	△
	ニット工業	▲	▲	△	△	△	▲
	毛織物	▲	△	▲	△	△	▲
	合成繊維織物	△	△	△	△	△	△
	メンズアパレル	▲	△	▲	△	△	△
	婦人・子供服	▲	▲	▲	▲	△	▲
	縫製(既製服)	▲	△	△	△	△	▲
木材・木製品	製材	△	△	△	△	△	△
	銘木	▲	△	○	△	△	△
	家具	▲	△	▲	△	△	△
	東濃ひのき	▲	△	△	△	▲	▲
紙・紙加工品	機械すき和紙	▲	△	△	△	○	△
	特殊紙	▲	△	△	△	△	△
	紙加工品	△	△	△	△	△	△

業種区分	業種	前年同月比					
		売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
印刷	印刷	△	△	▲	▲	△	▲
化学ゴム	プラスチック	○	△	△	△	△	△
窯業・土石	陶磁器(工業)	△	△	△	△	△	△
	タイル	△	△	△	△	△	△
	窯業原料	△	△	△	△	△	△
	石灰	▲	▲	▲	△	△	▲
	生コンクリート	△	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	砂利生産	△	△	△	△	△	△
	砕石生産	○	△	△	△	△	△
	鋳物	○	△	△	△	△	△
	刃物等金属製品(輸出)	△	○	△	△	△	△
	刃物等金属製品(内需)	△	△	△	△	△	△
一般機械	メッキ	▲	△	▲	△	△	▲
	県金属工業団地	△	△	△	△	○	△
	可児工業団地	○	△	○	○	○	○
輸送用機器	金型	△	△	△	△	△	△
	輸送用機器	▲	△	▲	△	△	△

凡例
 ○ ⇒ [増加]、[上昇]、[好転]
 △ ⇒ [不変]
 ▲ ⇒ [減少]、[下降]、[悪化]

2. 非製造業

業種区分	業種	前年同月比					
		売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
卸売業	電設資材卸	▲	△	▲	△	▲	▲
	陶磁器産地卸	▲	△	▲	△	△	▲
	機械・工具販売	△	▲	△	△	△	△
小売業	青果販売	△	△	△	△	△	△
	水産物商業	△	△	△	△	△	△
	家電機器販売	△	△	△	△	△	△
	メガネ販売	▲	△	△	△	△	△
	中古自動車販売	△	▲	△	△	▲	△
	石油製品販売	▲	▲	△	△	△	△
	共同店舗(飛騨)	○	△	△	△	△	△
	生花販売	○	△	△	△	△	△
商店街	商店街(岐阜)	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	商店街(大垣)	○	△	○	△	△	△
	商店街(高山)	▲	△	▲	▲	△	▲
サービス業	自動車車体整備	▲	△	▲	△	△	▲
	長良川畔旅館	△	△	△	△	△	△
	下呂温泉旅館	△	△	△	△	△	△
	高山旅館	△	△	△	△	△	△

業種区分	業種	前年同月比					
		売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
サービス業	クリーニング	○	△	△	△	△	△
	広告美術	○	▲	○	△	△	○
	旅行業	△	△	△	△	△	△
	理容・美容業	▲	△	△	△	△	△
建設業	土木(岐阜地区)	○	▲	△	△	△	△
	土木(飛騨地区)	▲	△	▲	▲	▲	▲
	建築設計	▲	▲	▲	▲	△	▲
	鉄構造物	△	▲	△	△	△	△
	電気工事	○	△	△	△	▲	△
	管設備工事	△	△	△	△	△	△
	建築板金	△	△	△	△	△	△
	室内装飾	△	△	△	△	△	△
	木造建築	○	△	○	△	▲	△
運輸業	貨物運送(県域)	▲	△	△	△	△	▲
	軽運送	▲	△	△	△	△	△
その他の非製造業	貸植木業	△	△	△	△	△	△

凡例

- ⇒ [増加]、[上昇]、[好転]
- △ ⇒ [不変]
- ▲ ⇒ [減少]、[下降]、[悪化]